

留 学 報 告 書

記入日:2017年4月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フロリダ州立大学 現地言語: Florida State University
留学期間	2016年7月～2017年1月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年1月6日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	4,000	450,000 円	
宿舍費	2,000	220,000 円	5か月合計
食費	1,100	125,000 円	
渡航旅費	2,600	280,000 円	
その他	2,000	220,000 円	
合計	11,700	1,295,000 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
寮	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)	
3)住居を探した方法:	
グログラムの紹介	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
シェアルームの家賃としては安くはないが、充実したキッチンやリビングルーム、他国出身のルームメイトとの共同生活をする意義を含めれば妥当な値であり、貴重な経験を得た。日本人ではなく、他国出身者とのルームシェアを強く勧めたい。日本人とルームシェアするなら日本ですればよい。	
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 大学から離れていたため、民間医療機関を利用。	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
友人やインターンシップ先の上司に相談した。留学先大学の担当者に気軽にメールや LINE を使って相談できる状態ではあった。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
現地出身の友達に危険な地域や場所は注意されていた。実際に被害を受けることはなかった。	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
大学や寮・インターンシップ先でWi-Fiの設備が充実しており、ほとんど苦労しなかった。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
以前から持っていた銀行口座を使い、日本の親から送金してもらっていた。インターンシップにより、生活ができる程の収入があった。また、クレジットカードも携帯していた。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
日本の薬や化粧品。	
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
渡航前に指示があり、自分が指定したクレジットカードで支払った。振り込みの案内は急で、支払い期限もとても短かった。	
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
自分がする仕事によって他人を笑顔にできたり、幸せにできたりする職業に就きたいと思うようになった。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ, 記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	インターカルチュラルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	90 分が 14 回
担当教授	ロバート教授
授業内容	主に文化の比較や理解について
試験・課題など	週に 1 回程度レポート形式の課題 帰国 1 か月前に最終レポート
感想を自由記入	難しい内容は少なく、自分の意見を問われる内容が多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Applied Intercultural Communication	アプライドインターカルチュラルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	120 分が月 1 回
担当教授	ロバート教授
授業内容	主に文化の比較や理解について
試験・課題など	週に 1 回程度レポート形式の課題 帰国 1 か月前に最終レポート
感想を自由記入	難しい内容は少なく、自分の意見を問われる内容が多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Corporate Social Responsibilities	コーポレートソーシャルリスポンシビリティ
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	90分が 0.25 回
担当教授	ロバート教授
授業内容	主に文化の比較や理解について
試験・課題など	週に一回程度レポート形式の課題 帰国一か月前に最終レポート
感想を自由記入	難しい内容は少なく、自分の意見を問われる内容が多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication Internship	インターンシップ
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016年8月～2016年12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	インターンシップ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	インターンシップ
試験・課題など	週に1回程度レポート形式の課題 帰国1か月前に最終レポート
感想を自由記入	難しい内容は少なく、自分の意見を問われる内容が多かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	出願・選考
2016年 1月～3月	2次選考
4月～7月	留学事前説明会・留学費支払い・留学前準備
8月～9月	渡航・集中授業
10月～12月	インターン先の仕事内容の変更
2017年 1月～3月	帰国・帰国報告
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校 1 年時に、ロータリークラブを通じてアメリカでのホームステイを経験し、海外への興味や関心が高まりました。海外の文化に触れることの楽しさや有意義さを感じ、社会に出る前の大学在学中の長期留学、もしくは海外インターンシップを検討していました。自分の学びたいこと、したいことを海外で経験できる機会は、社会に出てからは希少なものになると考え、大学在学中に必ず経験したいと思っていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	現地で手に入れることができないであろう医療品を渡航前に買いだめし、留学先に持ち込みました。また自分自身のことについてや家族のこと、日本の文化や宗教など、海外の人が興味を持つと予想される事柄について話すことができるように、ある程度それらの事柄をまとめ、整理しておきました。しておけばよかったと思う準備は特にありません。
この留学先を選んだ理由	大学在学中の長期留学や、海外インターンシップを強く希望していた自分にとって、国際日本学部のディズニーインターンシッププログラムは理想に近いものであり、期待する経験が得られると考えたからです。また留学費用が他の既存プログラムに比べて安いことも、留学先を決めた要因のひとつでした。
大学・学生の雰囲気	広大なキャンパスのなかで、自由に学生がのんびりと生活しているイメージをうけました。キャンパスの中に学生の居住施設が含まれており、学生は大学のキャンパス内に住んでいるようなシステムです。フレンドリーな学生も多く、食堂では喜んで食事とともにしてくれました。広大なキャンパスの道には、一定間隔で防犯ブザーが設置してあり、日本に比べ犯罪が多いイメージのあるアメリカでも、安心して生活を送ることができるような工夫がしてありました。
寮の雰囲気	ルームメイトとの寿司パーティやゲームパーティ、映画鑑賞会などが毎週のようにあり、常にフレンドリーな雰囲気がありました。他にも、同じ国籍の人が集まるパーティや、寮主催のプールパーティなど、外交的になれば常に生活を楽しめる環境にありました。知らない人とでもすれ違えば、挨拶やアイコンタクトを交わすのが普通でした。
交友関係	早い段階からルームメイトと打ちとけることができ、寮ではリラックスできる環境を確保できました。寮は 4 つありましたが、無料のバスが通っていたこともあり、他の寮に住む友達とも容易に会うことが出来ました。職場でも時間とともに友達が増え、勤務中も楽しく会話を交わしたり、プライベートででかけるような友達も、勤務を通してできました。勤務先の人が集まるパーティや映画鑑賞会にも積極的に参加し、広い交友関係を持つことができたと感じています。
困ったこと、大変だったこと	ルームメイトが寮の規則に反し、友人や彼女を部屋に泊めさせるために、私がリビングルームで寝ることをせがまれることが何度かありました。それに伴って規則を守ることに伴ってや、お互いのプライベートを守ることに伴って、同部屋会議を開いたこともありました。携帯電話が Wi-Fi 環境がないとインターネット通信ができない状況で、ときどき Wi-Fi がなく、困ることがありました。
学習内容・勉強について	プログラム最初の集中授業期間は、授業や用意された活動や課題、プレゼンテーション準備などで過密なスケジュールをこなしました。授業ではグループ内でのディスカッションやグループごとの意見発表などがあり、学生間での意識の高さの違いが顕著にみられました。集中授業期間後は月 1 回程度の講義と、ほぼ毎週出される課題をこなしました。難しい内容は少なく、自分の意見や経験を問われるものが多かったです。
課題・試験について	レポート形式の課題がほぼ毎週出されました。難しい内容は少なく、用意された資料や教材を読み込み、自分の経験や意見を交えながらレポートにまとめる形式のレポートが多かったです。学術的な資料を読み込み、分析しながら自分の経験や意見を紙面にまとめられる良い機会にもなり、時間がある程度確保すれば難なく取り組める内容でした。

大学外の活動について	寮主催のプールパーティや映画鑑賞会、地元スポーツチームの試合観戦ツアーなどが毎週のようにあり、スケジュールがあう日には積極的に参加しました。他にも休日には友人と他の町に観光に行ったり、買い物に行ったりしました。無料バスやウーバーを使って、簡単に寮から移動することができました。
留学を志す人へ	”郷に入っては郷に従え”の精神が留学成功の近道だと思います。自分が持つ習慣や価値観がすべてであると思わず、他の文化を受け入れ、学ぶことも海外留学の意義のひとつです。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	休息	休息	掃除	休息	休息	休息	休息
	プール	自習	自習	掃除	洗濯	ランチ	掃除
午後	課題	洗濯	授業	昼寝	自習	昼寝	観光地訪問
	昼寝	昼寝	休息	プール	昼寝	自習	
夕刻	出勤	出勤	買い物	出勤	出勤	出勤	買い物
夜	勤務	勤務	自炊	勤務	勤務	勤務	ルームパーティ